

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2773500604
法人名	社会福祉法人 長生会
事業所名	グループホーム 美野の里
訪問調査日	平成 20 年 8 月 4 日
評価確定日	平成 20 年 9 月 26 日
評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日平成20年8月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2773500604		
法人名	社会福祉法人 長生会		
事業所名	グループホーム 美野の里		
所在地	大阪府南河内郡太子町大字山田2558番地 (電話) 0721-98-4165		
評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 親和ビル402号		
訪問調査日	平成20年8月4日	評価確定日	平成20年9月26日

【情報提供票より】(20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16人	常勤	8人, 非常勤 8人, 常勤換算 10.9人

(2) 建物概要

建物構造	RC造り		
	2 階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有(円)		○無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2		3 名	
要介護3	7 名	要介護4		3 名	
要介護5	2 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 83.9 歳	最低	75 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(特養)美野の里付属診療所、青山第二病院、深阪歯科クリニック
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業主体は、事業所と同一敷地内で、介護老人福祉施設、ケアハウス、通所介護、訪問介護、訪問看護、在宅介護支援センター、付属診療所等々を運営している。事業所は平成15年4月に開設され、短期利用共同生活介護の指定もある。ちかつ飛鳥の里、聖徳太子ゆかりの地、二上山の山懐の緑豊かな自然に囲まれたホームの窓からは、PLの花火芸術を始め、富田林・羽曳野を一望できる。利用者は、四季折々の季節感を味わいながらの生活と暮らしが可能である。ホームの理念は「笑顔: 笑いの絶えない、あたたかい場所にします。心: 認知症や介護の理解を深め、安心して生活していただける場所にします。交流: 地域に出かけ、気軽に足を運んでいただける場所にします」として、これらの理念の具体化の為に、管理者・全職員が一体と成った真摯な取り組みの姿が見られる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目: 外部4)
	①運営推進会議を活かした取り組み②玄関に鍵をかけないケアの実践、の2点が改善項目とされた。①は平成20年は2月、7月と会議が実施され、開催頻度が増やされた。ただ、会議の運営方法(報告内容、会議のメンバーの協力体制等)は今後も継続課題としての取り組みが望まれる。②は鍵をかけることの弊害を充分理解しながら、利用者の出入りの希望には即応体制をとり、見守りを重視するようになった。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 外部4)
	今回の自己評価に対しては、職員の業務多忙と時間的な余裕がなく、管理者主導型の自己評価表の作成となった。今後は、自己評価の検討・作成方法を全職員で話し合い、全職員参加の自己評価が出来る様な工夫が期待される。自己評価や外部評価を実施する意義・目的は職員が理解している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、平成18年6月に設置された。5ヶ月に1回運営推進会議を開催している。取り組みとしては、毎月のホームの運営・サービス活動状況報告、利用者の行事実施内容や結果報告、自己評価、外部評価結果の公表等々が行なわれている。また、会議へは、家族、民生委員、老人クラブ代表、地域包括支援センター職員が参加し意見交換が行われているが、さらに深める努力が期待される。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 外部7, 8)
	苦情相談窓口を設置して、管理者による、意見、苦情、不安への対応がされている。また、家族の来所時には、利用者の日常生活・行事・健康状態等が家族に詳細に報告され、介護記録表の閲覧も可能である。また、「苦情箱」も設置されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目: 外部3)
	地域で開催される各種の催事(だんじり祭り、老人会、各種イベント)への参加、また、保育園の園児の訪問、ボランティア団体の慰問も積極的に受け入れ、楽しみながらのふれあいがある。そこには、地域に愛され、気軽に足を運んでいただける場所を目指す、ホームの理念を活かした、地域の人々と共に生きる積極的な関係づくりが見られる。

2. 評価結果(詳細)

取り組みを期待したい項目

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は「笑顔:笑いの絶えない、あたたかい場所にします。心:認知症や介護の理解を深め、安心して生活していただける場所にします。交流:地域に出かけ、また、気軽に足を運んでいただける場所にします」としている。これは、新しい地域密着型サービスの理念に沿った、事業所独自の理念と言える。	<input type="checkbox"/>	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホームの見え易い処に掲示している。毎月1回の職員会議や研修会で日頃から全職員が理念の共有を図り、理念の実践に向けて取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	
2.地域との支え合い				
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣地域で開催される各種の催事への参加、また、近隣保育園の園児の訪問も積極的に受け入れているが、立地条件により地域住民と日常的にふれあう機会は少ない。	<input type="checkbox"/>	一般住宅や繁華街からの地域が遠いということもあるが、家族やボランティア等の助力を得て、日常的なふれあいを求める工夫が望まれる。太子町子供の安全見守り隊に入る構想には大いに期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は職員会議でも報告され、自己評価や外部評価の意義・目的は理解しているが、自己評価への職員参加が無く、「評価を活かしての気付きと改善」につながる機会を逸したと言える。	<input type="checkbox"/>	自己評価の作成方法を全職員で検討し、全職員が参加することでのレベルアップについて話し合うことにより、評価の意義の理解と活用が深まることを期待する。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、5ヶ月に1回開催されているが、利用者へのサービスの実際、評価への取組状況等の報告で終始しており、運営には困惑が見られる。	<input type="checkbox"/>	推進会議のメンバーに各種行事への参加の呼びかけ、ホームの現状や介護サービスの実態等を直に見て頂くなど、メンバーとの意見交換を深める取り組みが期待される。

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、町の担当職員とはコミュニケーションを密にして頻繁に情報交換がされている。市の担当者の指導や連携によりサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制				
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態の報告や日常の暮らしの報告、サービス内容や行事・金銭出納等々定期的(3ヶ月)に書類により実施されている。健康状態の変化など状況により随時電話連絡もある。毎月「和・なごみ」(写真付き)を発行、各種行事やイベントの案内や報告がされている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置して、管理者による、意見、苦情、不安への対応が成されている。また、家族の来所時には利用者の日常生活、行事、健康状態等が家族に詳細に報告され、介護記録表の閲覧も可能である。本年度より「家族面談」を実施し、家族との意見交換がされている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の配置、異動は適材適所と共に、利用者本位を最優先と考えている。ただ、離職者が頻繁に発生した場合の対応には苦慮している。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ベテラン職員がリーダーと成り、日常業務の中で、定期的な職場研修を実施している。月1回のOJT(職場内研修)を通じて、職員各自の介護意識を高める取り組みがされている。ホームでは、「人は宝」と考え、職員の技術・能力の向上は、自らが向上心を持ち、自発的に学習に取り組む事で成果が得られるとしている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣施設が集まる「富田林事業者連絡協議会」に加入しての交流はあるが、グループホームの独自性をもつネットワークへの参加はみられず、広い視野に立った交流には至っていない。	○	予想されている南河内グループホーム協会の組織づくりに積極的に参加し、行政・その他機関との連携もとりがらの一層の交流を深め、事業所のレベルアップに努めることを期待する。

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員の面接は1度だけではなく、家庭に赴き、利用者が十分納得する説明を行ない、必ず利用者本人や家族がホームを見学して、利用者と家族が安心納得した上でサービスの利用する関係作りが成されている。		
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	自立支援を念頭に、利用者の訴えを傾聴し、人生の先輩として人格を尊重した言葉使いや態度で接し、利用者一人ひとりの個性を理解し、尊重して、温かな家庭的な安らぎと寛ぎの中で、利用者から学んだり、支え合う良き関係が築かれている。		
Ⅲその人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式シートの一部導入(状況把握シート、心身の状況シート)により、利用者の過去・現在・未来を的確に把握して、利用者の生活の自己決定や意思表示を大切にしたい、心身や暮らしの情報の把握が実践されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個々人の状況把握に必要な各種の記録を用いて計画作成に当たっているが、利用者の実態・特性を活かす方向での計画には些か不十分である。	○	各種記録の事前評価を行い、関係者による多様な意見を出し合う経過での、利用者個々の生活の質を高めるための要素を盛り込んだ計画書が作成されることを期待する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の見直しは、おおむね3ヶ月に1回実施されている。また、変化が生じた場合は随時見直しを行ない、計画の変更を実施している。見直した計画書には、家族の署名捺印と書類交付もある。		

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所では、自主サービスの「外出の支援」「移送サービス」「外泊支援」が実施されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働				
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を尊重して、かかりつけ医の継続が成されている。事業所の協力医療機関等の医療を受ける場合は、本人や家族等の同意と納得を得ている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合は、かかりつけ医等のアドバイスを受けながら、家族の考えを伺い、一定の方針を確認している。そしてこの方針は、職員会議等を活用して職員全員に説明し、施設職員が共通認識の基に一体と成って対応できる取り組みがされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々のミーティング等で、利用者への言葉かけや対応に注意して、利用者の誇りやプライドを損ねない対応がされている。個人情報の漏洩防止にも努めており、プライバシーの保護の徹底を図っている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の思いを最優先として、個人の生活習慣や希望やペースに添える様な配慮がされている。入浴時間や食事・就眠時間等も利用者の希望に添える臨機応変な対応をしている。		

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に3回程度の、利用者がサンプルを見ての、主食の選択、副食の選択が実施されている。年2回は利用者の嗜好調査もあり、日頃は、職員が利用者の好みを直に聞き好みのものを入れた食事作りをしている。盛り付け、配膳、食器洗い、後片付け等は利用者と職員が共に協力して実施している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回とされ、希望があれば利用者の希望に沿った入浴が可能である。シャワー浴も可能である。また、併設施設には、特殊浴槽があり、ホームの利用者も使用が可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	楽しみごとは、散歩、遠足、PL花火、屋上花火大会、だんじり祭り、近隣のイベント参加等々多くが実施されているが、現状は、利用者からの積極的な希望・要望よりも、ホームの側からの提案によるものが多く、利用者の声を引き出す努力が見られる。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	雨天以外は毎日の散歩が行なわれている。屋上に出たり、ドライブを楽しんだり、外気浴等々、利用者の希望する時間や場所に出かけて、一人ひとりの希望に沿った外出支援が実施されている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全ての職員は、鍵をかけることの弊害は理解している。玄関には電子キーを採用して、利用者の安全のため施錠をしているが、利用者が戸外への出入りの希望には即応体制をとり、見守りを重視して、出来る限りの開放感が得られる様に心がけている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導による避難訓練は年2回実施されている。また、消防署からの意見や助言は、その都度会議で職員に徹底が図られている。また、防火管理者も設置されている。		

自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取と水分摂取量は個人別ケース記録シートで把握されている。また、個人別に食べる量や水分量は毎日把握されており、一人ひとりの状態に応じた支援がされている。また、栄養バランスについては管理栄養士による週間献立表にカロリー量も表示されて、栄養バランスが計られている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂兼居間は、自然の採光で明るく、大きなソファが設置されて、居間の一角には、格子造りの、掘炬燵の在る畳部屋がある。広い窓からは、山の緑や田園風景が見られ、PLの花火や富田林・羽曳野が一望できる。利用者は四季の季節感を楽しむ事が出来る。広い廊下には保育園児の多くの絵画が飾られている。浴室は個浴で、手すりが付けられ、清潔である。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた調度品を持参されている。好みの暖簾のある居室は、約8畳と広く、畳3畳と、ベッドがあり、洗面所(ナースコール付き)とトイレが全個室に在る。また、専用の整理タンスも各居室に設置してある。家庭的な心地よい雰囲気づくりがある。		